

広報

あなたと町をつなぐ情報誌

はなわ

謹賀新年

2025

1

令和7年1月1日

No.734

役場新庁舎が供用を開始して
初めての新年を迎えました。
これから町民の皆さんのための
まちづくりを進めていきます。



令和7年 新春

年頭の ごあいさつ



町民の皆さまのための議会活動に
埴町議会議員長

鈴木孝則 すずき たかのり
SUZUKI Takanori



次世代につなぐまちづくりを
埴町長

宮田秀利 みやた ひでとし
MIYATA Hidetoshi

新年あけましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、新年を希望に満ちた輝かしい気持ちでお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、日頃より町政の発展と議会運営に対し、深いご理解とご協力をたまわり、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年3月に町議会議員の任期満了に伴う選挙が行われ、13名の議員が町民の皆さまから負託を受け新たな体制での議会がスタートし、間もなく1年になるうとしております。新しい年を迎え、その責任の重さをあらためて感じるとともに、埴町のさらなる発展のために議員一同、引き続き自覚と責任を持って町政に取り組む所存です。町民の皆さまのお一層のご理解とご協力を切にお願ひするものであります。

議会では、町民の皆さまから多様なご意見をいただくため、議会報告会を開催しております。皆さまからのご意見を今後の議会活動やまちづくりに反映していきたいと考えております。引き続き町民の皆さまとともにある議員、町民に開かれた議会

として、多様なお声とご意見に耳を傾け、町政に反映するよう不断の研さんと議会活動に努めてまいります。

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類感染症へ移行したことにより、さまざまな行事やイベントが復活し、ようやくコロナ禍前の日常が戻りつつあると感じております。人々の交流がまちの活性化につながり、社会経済活動がさらに活発になることを期待しています。

その一方で、加速化する少子高齢化、諸物価の高騰、激甚・頻発化する災害など、地域社会を取り巻く環境はいまだ大きな影響を受けており、これからも多様な課題に対し、迅速かつ柔軟に施策を展開していかなければなりません。

町議会といたしましては、二元代表制の一翼を担う議事機関として役割を果たすとともに、町民の皆さまが安全で安心して暮らせるまちづくりの実現に向けて、最善の努力をしております。

結びに、新しい年が皆さまにとって、実り多き年となりますことを心より祈念いたしまして、年頭のあいさつとさせていただきます。

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

皆さまの輝かしい新年の門出を、心よりお慶び申し上げます。

昨年、多くの皆さまの温かいご厚情とご支援をいただき、三度、町政のかじ取りを担うこととなりました。まことに光栄なことであり、衷心より深く御礼申し上げます。今、その責務の重さを痛感している次第でございます。これからも町民目線での行政運営にしっかりと取り組んでいく所存でございますので、さらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。

さて、令和4年度から継続事業として進めております役場庁舎改築事業でございますが、昨年5月に新庁舎での業務が供用開始となりました。今後、令和8年3月の完成に向け、町民の皆さまがさらに利用しやすい庁舎とするための第二期工事を進めてまいります。

町での人口減少への対策といたしましては、子育て世帯を応援するため、お子さんの成長段階にあわせた支援金の交付、入学祝金の支給などを引き続き実施してまいります。ま

た、国県支出金を活用した妊娠・出産時の支援など、安心して子どもを産み育てられる環境づくりに引き続き努めてまいります。高齢者の皆さまには住み慣れた地域で、安心して、元気に活躍できる社会の実現のため、外出支援や、子ども第三の居場所での世代を超えた交流の場の提供など、地域の結びつきを深める事業も進めてまいります。

さらに近年の激甚化している災害に対応するため、防災拠点施設の機械類を使用した防災への取り組みをはじめ、農林業・商工業、そして道路改良・維持管理などを中心とする事業にも力を注ぎ、皆さまが安心して住み続けられる「町民満足度」の高いまちづくりを目指してまいります。そして、「次世代につなぐまちづくり」の実現に向け、町民の皆さまのお力添えをたまわりながら、町一丸となって課題解決に取り組んでまいりますので、町政に対する一層のご理解ご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとりまして、健やかで幸多き年となりますことを心からご祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。

ふくしま 鉄道博

メッセージ唱和

【乗る】 私たちは、地域公共交通として大切な水郡線を次の世代につないでいくため、通勤や通学、観光などで積極的に利用していきます。

【関わる】 私たちは、地域一丸となって水郡線の活性化を進めていくことができるよう、身近なところから協力の輪を広げていきます。

【発信する】 私たちは、久慈川の清流をはじめ、四季折々の自然と人々の暮らしが織りなす里山の風景や、豊かな食の恵みなど、水郡線の多彩な魅力を全国に伝えていきます。

福島県生活交通課主催の水郡線全線開通90周年記念イベント「ふくしま鉄道博」が、令和6年11月30日(土)と12月1日(日)の2日間、塙農村労働福祉会館、塙町役場、塙町コミュニティプラザ、磐城塙駅で行われました。「先人たちの熱い思いで敷設され、地域活性化の大動脈としての役割を果たしてきた水郡線。この大切な地域公共交通を次世代につないでいく」。このイベントを通して皆さんの心はひとつになりました。



古殿町長 岡部光徳 | 浅川町長 江田文男 | 平田村長 澤村和明 | 玉川村長 須釜泰一 | 須賀川市長 大寺正晃 | 石川町長 首藤剛太郎 | 福島県知事 内堀雅雄 | JIR東日本 執行役員水戸支社長 下山貴史 | 塙町長 宮田秀利 | 郡山市長 品川萬里 | 棚倉町長 宮川政夫 | 矢祭町長 佐川正一郎 | 鮫川村副村長 鈴木大介

90周年記念セレモニーにおいて、内堀県知事、下山水戸支社長、首藤石川町長、宮田町長、水郡線活性化対策協議会構成自治体首長、福島県・茨城県職員、塙天領太鼓「封元」の皆さん、帝京安積高等学校書道部の生徒たちが、水郡線を次世代につないでいくため、メッセージを唱和しました。

「ふくしま鉄道博」

主なイベント内容

【会場】 塙農村労働福祉会館

- 11月30日(土)
 - ・第14回「奥久慈清流ライン乗ってみよう水郡線」児童絵画展表彰式
 - ・高校生による水郡線車内アナウンス発表
 - ・水郡線活用プレゼン大会
- 11月30日(土)・12月1日(日)
 - ・「鉄道おもちゃ(プラレール)」再現走行体験

- 12月1日(日)
 - ・パフォーマンス
 - 奥州ずっこけ隊 ○須賀川市歌・須賀川小唄普及推進の会
 - ・ふくしま応援ポケモン「ラッキー」グリーティング
 - ・ゆるキャラグリーティング
 - ・90周年記念セレモニー
 - 塙天領太鼓「封元」演奏 ○主催者、来賓あいさつ
 - 帝京安積高等学校書道部パフォーマンス
 - 記念だるま 目入れ ○メッセージ唱和
 - ・ダーリンハニー・吉川正洋さん「鉄道トークショー」

【会場】 塙町役場庁舎「はなわホール」

- 11月30日(土)・12月1日(日)
 - ・沿線8市町村ジオラマ展示
 - ・日本鉄道研究会 Nゲージ操作体験
 - ・日本鉄道研究会プラレール展示
 - ・郵政博物館「鉄道切手」資料展示
 - ・郵政博物館「鉄道郵便」写真展示
 - ・水郡線フォトコンテスト入賞作品展示

【会場】 塙町役場駐車場

- 12月1日(日)
 - ・マルシェ
- 【会場】 塙町コミュニティプラザ
 - 11月26日(火)～12月1日(日)
 - ・水郡線応援画家・佐々木麻里さんの鉛筆画作品展

※イベントに先行して開催

【会場】 磐城塙駅

- 12月1日(日)
 - ・レトロおよび90周年記念ラッピング列車入線
 - ・塙天領太鼓「封元」による演奏およびゆるキャラによるお出迎え



90周年記念ラッピング列車が磐城塙駅に入線。記念だるまを持ち駅に降り立つ下山水戸支社長を内堀県知事ら各首長が出迎えました(中央)。また、塙天領太鼓「封元」の皆さんの演奏やゆるキャラたちも出迎え、駅には大勢の皆さんでにぎわいました。

ゆるキャラたちもせいぞろい

記念ラッピング列車には、はなわのダリアもデザインされています(左)



水郡線全線開通90周年記念 ふくしま 鉄道博

塙農村労働福祉会館
塙町コミュニティプラザ
磐城塙駅 編



- ①「ラッキー」登場に子どもたち大喜び
- ②塙町コミュニティプラザに展示された、水郡線応援画家・佐々木麻里さんの鉛筆画作品展
- ③内堀県知事らも佐々木さんの作品を見学
- ④90周年記念セレモニーの開幕にふさわしい塙天領太鼓「封元」の皆さんの勇壮な演奏
- ⑤鉄道芸人であるダーリンハニー・吉川正洋さんの「鉄道トークショー」に会場は大爆笑
- ⑥レトロラッピング列車も磐城塙駅に入線。車内は、はなわのダリアが装飾されました
- ⑦90周年記念だるまに目入れをする内堀県知事
- ⑧奥州ずっこけ隊の皆さんによる華麗なよさこい踊りでステージイベント開幕
- ⑨帝京安積高等学校書道部の生徒たちが心を込め、水郡線メッセージの書を披露



第14回「奥久慈清流ライン乗ってみよう水郡線」児童絵画展表彰



受賞者(町内小学校のみ・「」題名・敬称略)

■低学年の部	○銀賞「ダリアとすいぐんせん」	寺嶋桃花(塙小1年・台宿)
	○入選「すいぐんせんにとったよ」	上妻依桜(塙小1年・八幡)
■中学年の部	○J賞「ダリアの中を走れ!水郡線」	近藤亮平(塙小3年・桜木町)
	○東京海上日動賞「町中を通る夏の水郡線」	近藤志依(塙小4年・赤坂)
■高学年の部	○入選「どこまでも走るよ水郡線」	品川陽菜(塙小5年・真名畑)

会場には入賞作品が展示されました

高校生による水郡線車内アナウンス発表

学校法人石川高等学校インターアクト部の生徒たちが、車窓からの景色のポイントをどう言葉で魅力的に伝えることができるのかを探求し、自分たちで撮影した沿線風景のスライドや動画にあわせてアナウンスを披露しました。



「私たちにとって水郡線は、通学の一部としてとても身近な存在です。楽しいときも、部活で疲れ切った日も、通学路で感じられる四季折々の風景と、その中で友達と交わす会話に過ごした時間。そして、ガタンゴトンと揺れる列車の中で、勉強したり眠ったり、ときには恋バナをしたり。そんな私たちの日常は、水郡線が運んでくれる青春の日々なんだと思っています。」(発表一部抜粋)

水郡線利活用プレゼン大会



沿線地域や路線の課題解決をチーム自ら探求し、プレゼンを行いました。(左は最優秀賞の「まちのリビングプロジェクトチーム」(学校法人石川高等学校生徒))

審査委員
水郡線応援画家 佐々木麻里さん
平成26年から、水郡線をテーマに、駅や沿線を訪ね、人のぬくもりを感じる鉛筆画の作品を多く描いている。

審査委員長
交通ジャーナリスト 鈴木文彦さん
雑誌「鉄道ジャーナル」などにレギュラー執筆するほか「運輸と経済」など鉄道に関する論文や取材記事多数

参加チーム(「」テーマ)
○日本鉄研電機「外と内から考える水郡線利用」
○郡の戸 進んでみれば 水の山
「水郡線に乗ってもらうにはどうしたらいいか?」
○まちのリビングプロジェクト「夢をかなえて水郡線」
○福島トラベラーズ「水郡線沿線の活性化ツアー」
○水郡線はなくさない運動の会 ~ Let's start with Asakawa ~
「3つのアイデアで乗車数2,000人突破を目指す!」

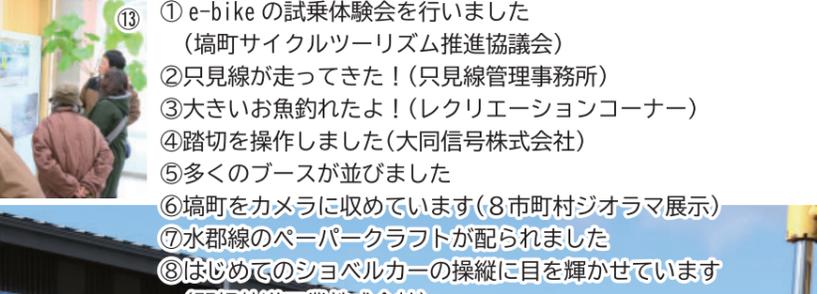


書道のメッセージ
窓に移りゆく景色
列車の音は今日も
私達の心に響いている

ふくしま 鉄道博

塙町役場庁舎「はなわホール」
塙町役場駐車場 編

塙町役場駐車場で行われた「マルシエ」。会場には21の団体が出店し、水郡線沿線自治体の物産品が並んだほか、只見線管理事務所や会津鉄道、阿武隈急行の水郡線以外の鉄道ブースなどが設けられました。このうち大同信号株式会社では、踏切や信号を自分で操作できる体験が、関根軌道工業株式会社では、レール整備の実演や、重機の乗車体験が行われました。



- ① e-bike の試乗体験会を行いました
(塙町サイクルツーリズム推進協議会)
- ② 只見線が走ってきた！(只見線管理事務所)
- ③ 大きいお魚釣れたよ！(レクリエーションコーナー)
- ④ 踏切を操作しました(大同信号株式会社)
- ⑤ 多くのブースが並びました
- ⑥ 塙町をカメラに収めています(8市町村ジオラマ展示)
- ⑦ 水郡線のペーパークラフトが配られました
- ⑧ はじめてのショベルカーの操縦に目を輝かせています
(関根軌道工業株式会社)
- ⑨ 歴史ある鉄道切手や鉄道郵便写真が展示されました
(郵政博物館「鉄道切手」資料、「鉄道郵便」写真展示)
- ⑩ 大好きなプラレールで遊びます(鉄道おもちゃ(プラレール)
再現走行体験。場所・塙農村労働福祉会館)
- ⑪ 走る列車を眺めます(日本鉄道研究会プラレール展示)
- ⑫ まもなく駅に到着！(日本鉄道研究会Nゲージ操作体験)
- ⑬ 見事な作品が並びます
(水郡線フォトコンテスト入賞作品展示)
- ⑭ 普段は見られないレール整備が実演されました
(関根軌道工業株式会社)

町の基礎をつくった 白石禎美氏の功績を学ぶ



白石禎美氏への手紙をご令孫の白石禎彦氏に手渡した、笹原小学校4年生の児童たち。禎彦氏は「家宝」にして大事に飾ります。亡くなった爺さんも喜んでくれていると思います」と嬉しそうに話しました。

授業は10回にわたって行われ、11月5日(火)の授業では、偉人マンガの主人公・白石禎美氏ほどのような人物なのかを考えました。児童たちの「なぜ塙厚生病院に銅像があるのか」という疑問を学習課題に授業の方向性を決めました。

11月8日(金)は、偉人マンガを読み進め、白石禎美氏がどんな人だったのか、どんなことをした人なのか、わからない言葉を中心にマンガに付箋を貼って探す作業を行いました。



塙厚生病院の白石禎美氏の銅像

塙町名誉町民で初代塙町長の白石禎美氏の半生を描いた「マンガふるさとの偉人 白石禎美」が塙町を築いた最初の町長を、公益財団法人日本財団とB&G財団からの助成金を受け、令和5年度に作成しました。令和6年度はこの偉人マンガを活用、笹原小学校4年生5人が白石禎美氏について学習しました。

マンガで学ぶ町の偉人



禎美さんってすごい人なんだね

11月26日(火)は、偉人マンガに登場する場所を実際に巡るバスツアーを行いました。最初に旧白石邸(川上)を訪れました。ご令孫である白石禎彦氏にご協力いただき、普段は見ることのできない邸内を見学しました。次に訪れた東白商事株式会社では、白石禎美氏のお話や愛用品を見せていただきました。また、児童が授業の中で考えた質問に答えていただき、最後に児童たちが書いた白石禎美氏への手紙を贈呈しました。

その後、磐城塙駅で駅舎、塙厚生病院にある白石禎美氏像と車内から東邦銀行塙支店を見学し、国道118号塙バイパスを通り笹原小学校に戻りました。

中根さんご一家



祝

中根ハツ子さん(川上)

令和6年12月10日(火)に満百歳を迎えられた中根ハツ子さん(川上)への祝状と記念品の贈呈式が、同年12月15日(日)、中根さん宅で行われました。

式では、宮田秀利町長から、県知事からの賀寿および記念品、町からの賀寿および記念品等、町社会福祉協議会からの記念品がそれぞれ贈呈されました。

その後、ご令孫の大輪春男さんから花束が贈呈され、親族を代表して、ご子息の中根吉丸さんが謝辞を述べました。

百歳

大正13年生まれ。子ども3人、孫5人、ひ孫6人、玄孫1人に恵まれる。長寿の秘訣は、適度に動き、おいしい食事をとり、よく寝ること。



町長から賀寿を受け取る
中根ハツ子さん

芳賀正光さんが 国土交通大臣表彰を受賞



江田一寛総務課長に受賞報告を行う芳賀さん(右)

令和6年12月2日(月)、役場庁舎応接室で、令和6年自動車関係功労者国土交通大臣表彰を受賞された、県レンタカー協会理事の有限会社芳賀モーター商会代表取締役・芳賀正光さん(本町)が受賞報告を行いました。芳賀さんは、多年にわたりレンタカー事業の振興に努め、この分野の発展に寄与された功績が認められ、今回の受賞となりました。芳賀さんは「地域発展のために協力してくれた方がたくさんいます。これからも努力したい」と報告しました。

県民大会で各種表彰を受賞



(左から) 八幡祐圭生活環境課長、天沼常豊支部長、宮田町長、石井さん、石川塙支部長、同支部の生畑目仁和さん(本町)

11月27日(水)、役場庁舎応接室で、各県民大会で表彰された防犯・交通安全関係功労者・団体の皆さんの受賞報告式が行われました。受賞された方・団体は下記のとおりです。

防犯・交通安全受賞者・団体 (敬称略)

防犯 令和6年10月16日(水) 全国地域安全運動 福島県民大会
【東北管区表彰】 優良防犯団体
塙町防犯協会 常豊支部 (支部長 天沼芳美 (東河内))
【福島県表彰】 防犯功労団体
塙町防犯協会 (会長 宮田秀利町長)

交通 令和6年10月11日(金) 福島県交通安全県民大会
【福島県交通対策協議会長 (県知事表彰)】
優良市町村交通対策協議会
塙町交通対策協議会 (会長 宮田秀利町長)

【福島県警察本部長・福島県交通安全協会会長連盟表彰】
交通安全功労者 石井久雄 (真名畑)
交通安全功労団体 棚倉地区交通安全協会 塙支部 (支部長 石川孝司 (上石井))



白石禎彦氏から旧白石邸の説明を受けました

偉人マンガで見たものを実際に確認することで、授業で理解したことをより深められ、禎美氏を身近に感じ、偉大さを肌で感じることで、児童にとっても有意義な学習でした。



白石禎美さんの 授業を受けて

この偉人マンガを読むまでは、白石禎美さんが何をした人かわかりませんでした。この授業を通して、塙町の初代町長になっただけでなく、病院や水郡線もつくった人ということが分かりました。また、バスツアーで、生まれたところに行ったり、孫の禎彦さんの話を聞いたりして、僕たちの町をつくったすごい人であると感じました。
笹原小学校4年生

驚きの研究成果



バルーンを飛ばして地球を撮影した研究には驚きました。また、賞状やトロフィー、NHK連続テレビ小説「エール」のモデル古閑裕而さんが作曲した校歌の楽譜を見ることができ、とても素晴らしいと思いました。

来館者
佐藤 慈則さん(茨城県)

思い出は色あせない



旧塙工業高等学校展を開催していただき、誠にありがとうございました。私が訪問した際は、同窓生と思われる女性2人組が、展示品を見ながら学生時代の話に花を咲かせていました。「光が丘」で過ごした皆さんの青春の思い出が、いつまでも輝き続けることを願っています。

白河実業高等学校
塙校舎教諭
菅家 寿和さん

問い合わせ先
生涯学習課 ☎43-2644
FAX43-4433
メールアドレスQRコード
塙町公民館 ☎43-0320



在校生のメッセージと今までの栄光や功績を展示

借しまれつつも歴史を閉じる塙校舎の歩み

令和7年3月末 閉校舎
白河実業高等学校塙校舎展開催



マナビイはなわ

生涯学習だより1月号

11月7日(木)から30日(土)までの24日間、「白河実業高等学校塙校舎(旧塙工業高等学校)展」を、あぶくま高原美術館で行いました。3月末をもって閉じる塙校舎。会場には、在校生一人一人のメッセージをはじめ、賞状やトロフィー、校舎と風景を撮影した写真や歴代の生徒たちの研究成果、電子科・機械科の学習内容、そして、全国大会や各地での演奏でその名をとどろかせた和太鼓部の活躍の様子、塙工業高等学校80年の歩みを表した年表など、普段は見ることができない約50点が展示されました。訪れた皆さんは、それぞれに思いを巡らせながら展示品を眺めていました。あぶくま高原美術館は、3月31日(月)まで冬季閉館しています。再オープンは、4月2日(水)です。

健康推進だより 113

問い合わせ先

健康福祉課健康推進係 ☎43-2115

見逃さないで「口の衰え」

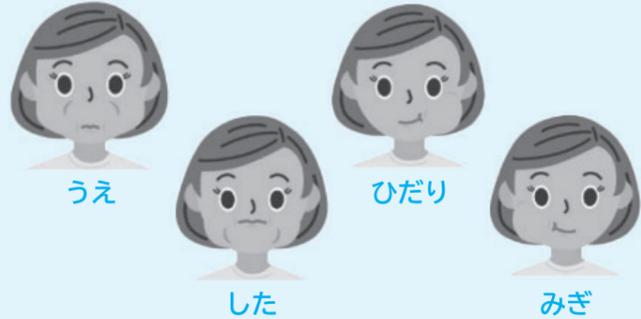
「食べ物がかみにくい」「やわらかいものばかり食べてしまう」などはありませんか？お口の「ささいな衰え」に気づいて、オーラルフレイル(口腔機能低下)を予防しましょう。

1. 歯医者さんへ定期的に通う

2. 歯磨きとブクブク・ガラガラうがい

3. 口の周りを鍛える「かみかみ体操」

口を閉じて、頬の上下左右をすばやく膨らませる。
※5回ずつからはじめてみましょう。



このようなときはありませんか？

- 食欲がない
- やわらかいものばかり食べる
- 舌が回らない
- 口が乾く、ニオイが気になる
- かむ力が弱くなった
- むせる、食べこぼす

オーラルフレイル
予防のために



★はなわスポーツクラブ通信★ 新春バドミントン大会開催

第28回バドミントン大会参加者募集中

- 日時 1月30日(木)
○受付時間 午後7時15分
○開会式 午後7時30分
- 場所 町営体育館アリーナ
- 参加資格 老若男女、バドミントンが好きな方なら、どなたでも参加できます。
- 参加費 500円
- 申し込み 1月23日(木)までに、はなわスポーツクラブ事務局まで(期限厳守)。
- 競技方法 ダブルス戦(ペアは、当日くじ引きで決定)全チーム総当たり方式1セット15ポイント先取チームが勝利
- その他 優勝、準優勝、その他全員に参加賞があります。体育館用室内シューズをお持ちください。ラケットがない方は、スポーツクラブのラケットをお使いください。



皆様のご参加をお待ちしています

1月の予定

第13回塙町長杯カローリング大会兼
第15回B&G海洋クラブカローリング大会

- 日時 1月10日(金) 午後1時30分受付
- 場所 町営体育館アリーナ

問い合わせ先
★NPO法人はなわスポーツクラブ★ 塙町大字塙字桜木町80番地(町営体育館内)
☎57-6589 FAX57-6587 メール: hanawa.fsc@gmail.com
メールアドレス QRコード



新刊案内



養老孟司 中川恵一

今年で88歳、
上機嫌に生きる。
5万部突破!

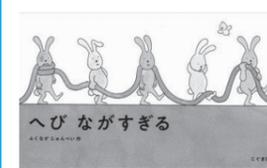
「養老先生、がんになる」

ようろう たけし なかがわ けいいち
養老 孟司・中川 恵一/著
株式会社 エクスナレッジ

- 内容 心筋梗塞になり、奇跡的に回復して4年。今回は肺がんが見つかった。病院嫌いの先生が治療を決断した理由とは。「よく生きる」ための明るく楽しい闘病記。

図書館からのお知らせ

1月のテーマ



「へびながすぎる」

ふくなが じゅんぺい/作
こぐま社

●ものがたり

へびは長いものですが、ここにでてくるへびは長すぎるので、ねずみは気付かずすべり台に、うさぎも気付かず縄跳びをして、ゴリラはなんとターザンごっこを始めます。そして最後は誰もが「え〜!」ということ間違いなし!!

【1月の図書館の開館・休館情報】

- 開館時間 火曜日～土曜日・・・午前10時～午後7時
日曜日・祝日・・・午前10時～午後5時
- 休館日 1日(水)～4日(土)、6日(月)、14日(火)、20日(月)、27日(月)、31日(金)
※31日(金)は図書整理のため休館

お正月・へびの本
図書館では毎月テーマを決め、そのテーマに関する本を集めたコーナーを設けています。今回は、その中から一冊の本を紹介いたします。なお、読みたい本が貸し出し中の場合は予約もできます。

情くらしの報の

◆埴町役場の電話番号(代表)
TEL 0247-43-2111
FAX 0247-43-2116
◆町のホームページアドレス
<https://www.town.hanawa.fukushima.jp/>
◆町のメールアドレス
soumu@town.hanawa.fukushima.jp
※ご意見・ご要望のある方はご利用ください。

【各課などの直通電話番号】
総務課 43-2111
町民課 43-2113
43-2114
健康福祉課 43-2115
(高齢者支援係) 43-2227
地域包括支援センター 43-2224
農林推進課 43-2118
まち振興課 43-2112
まち整備課 43-2117
生活環境課 43-2148
会計室 43-2149
議会事務局 43-2150
農業委員会 43-2119
学校教育課 43-4050
生涯学習課 43-2644
公民館 43-0320
あぶくま高原美術館 42-2510
図書館 43-0808
学校給食センター 43-0188
はなわこども園 57-8700
笹原幼稚園 43-0601
東白衛生組合 43-0378

入札情報



確定申告は、スマホからできます！

スマホを利用して、国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」から申告書作成・送信ができます。

確定申告 検索



申告書作成会場開設のお知らせ！

申告書作成会場では、ご自宅からと同様に原則ご自身のスマホにより、ご自分で申告書などを作成していただけます。

マイナンバーカード(暗証番号:数字4桁、英数字6~16文字)をお持ちの方は、忘れずにお持ちください。

なお、会場への入場には、「入場整理券」が必要です(「入場整理券」は、会場での当日配付とLINEによる事前発行があります。詳細は、国税庁ホームページをご確認ください)。「入場整理券」の配布状況に応じて、後日来場をお願いすることもあります。

■開設場所 白河市産業プラザ
人材育成センター2階講堂
(白河市中田140)

■開設期間 2月17日(月)~3月17日(月)
※土・日・祝日を除きます。

■開設時間 午前9時~午後4時
※提出のみの方は、郵送または白河税務署(本庁舎)に提出をお願いします。

■問い合わせ先 白河税務署
☎0248-22-7111(代表)

※音声案内で「2」番を選択してください。



1月18日は「118番の日」



次のような場合に「118番」通報してください。

- 海難人身事故に遭遇または目撃した
- 油の排出などを発見した
- 不審な船を発見した
- 密航・密輸事犯などの情報を得た など

以上の場合において、「いつ」、「どこで」、「なにがあった」などを簡潔に落ち着いて通報してください。

一般加入電話、携帯電話、船舶電話などから利用できます。

なお、いたずらや虚偽の通報などがあると本来の緊急通報の妨げとなり、巡視船や航空機の出動が遅れ、人命救助などに重大な障害を与えることとなりますので正しくご利用願います。

■問い合わせ先 福島海上保安部管理課
☎0246-53-7112

精神障がいのある方のご家族の懇談会開催

精神障がいは見た目ではわかりにくく、本人はもちろんのご家族の方もお困りのことが多いようです。そんなご家族の抱えている悩みを少しでも軽くできるよう、懇談会を開催します。この機会にぜひお越しください。

■日時 2月15日(土)
午前9時30分~11時30分
■場所 白河市表郷公民館
■参加対象者 精神障がい当事者のご家族など

■参加費 無料
■申し込み 電話、FAX、メールにてお申し込みください。

■問い合わせ先 (県南事務所)
NPO法人ウッドピアはなわ
☎43-2160(FAX 同じ)
メール npowoodpiahanawa@lilac.plala.or.jp



年末調整特集ページの開設

国税庁では、年末調整の時期に国税庁ホームページ内に年末調整特集ページを開設し、年末調整の際に使用する各種様式、年調減税を含めた年末調整の手順などの詳細を解説したパンフレットおよび動画ならびにチャットボット(AIを活用したシステムによる自動応答)を掲載しています。



詳しくは、こちらのQRコードを読み取りください。

医療従事者の皆さまは届け出を忘れずに！

医師・歯科医師・薬剤師・看護師・歯科衛生士・歯科技工士の皆さまには、医師法などの関係法律により、2年に1度、住所や従事先などを記載した届出票の提出が義務付けられ

ています。
令和6年は届け出の年に当たりますので、該当する方は令和6年12月31日現在の状況を紙の届出票またはオンラインにて提出をお願いします。

■対象 日本国内に居住する医師・歯科医師・薬剤師の方(現在、就労していない方も含みます)

■届出期限 1月15日(水)
※オンラインによる届け出は医療機関などに勤務の方が対象

■その他 紙媒体は勤務先の医療機関または保健所、厚生労働省のホームページなどから入手可能です。オンラインによる届け出は施設登録および申請者の利用登録が必要です。

■問い合わせ先 県南保健所
☎0248-22-5447



「ふくしまの未来」を共有しよう

福島イノベーション・コースト構想への参画促進、福島国際研究教育機構(F-REI)への理解醸成とF-REIとの広域的な連携を促進するため、市町村、住民、企業・団体などが集い、ともに「ふくしまの未来」を共有できる「イノベ構想参画促進セミナー・F-REI市町村座談会(県南地域)」を開催します。

閉会後には交流会も予定しており、

お悔やみ申し上げます

11月16日から12月15日までの届け出なくなった方
年齢 住所
深谷美津枝さん 99歳 川上
品川平助さん 94歳 真名畑
金澤多門さん 89歳 上渋井
関口義治さん 92歳 上石井
蛭田モト子さん 82歳 台宿
金澤恵さん 90歳 植田
芳賀佳海さん 74歳 栄町
小堀准さん 90歳 上渋井
金澤富雄さん 79歳 台宿
戸井田安彦さん 57歳 稲沢
※この欄に掲載を希望されない方は、届け出の際に窓口にお申し出てください。

ネットワークを広げていただく絶好の機会になりますので、多くの企業・団体など皆さまのご参加をお待ちしています。

事前申し込みが必要ですので、下記QRコードからお申し込みください。

■日時 2月5日(水) 午後2時開始
■場所 東京第一ホテル新白河
(JR新白河駅から徒歩1分)

■参加費 無料(交流会の参加は、参加費2,000円(税込)となります)

■主催 福島県、F-REI

■問い合わせ先 県福島イノベーション・コースト構想推進課
☎024-521-7928



参加申し込みはこちらから



農地の貸借が農地中間管理事業による貸借に一本化されます

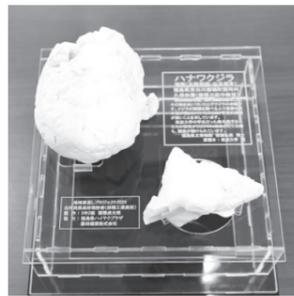
令和7年4月以降の貸借は、市町村(農業委員会)による相対契約(利用権設定)がなくなり、市町村が策定した「地域計画」に基づいて農地中間管理事業による貸借を行うこととなりますので、農地中間管理事業を積極的に御活用ください。(農地法3条許可は、引き続き利用可能です。)

出し手(農地を貸したい方) 農地中間管理事業のメリット 受け手(農地を借りたい方)
契約が明確で、安心して農地を貸せます。 契約・賃料精算事務の軽減が図られます。その他各種補助金の要件となっています。

ご相談お問合せ 公益財団法人福島県農業振興公社(福島県農地バンク) 〒960-8681 福島市中町8番2号
TEL.024-521-9845(中継り・会津担当) TEL.024-521-9843(浜通り担当) TEL.024-503-0421(被災12市町村担当)
※または、農地の所在する各市町村農政担当課・各JAまでご相談ください。



レプリカを鑑賞する皆さん
(左から猪瀬さん、宮田町長、穂積さん、藤田さん)



ハナワクジラは1,000万年前に海底だった現在の塙町の山中で発見されたクジラであり、その化石からは非常に貴重な耳の骨が見つかりました。このレプリカは、役場庁舎で展示されています。

ハナワクジラの耳の骨のレプリカ

ハナワクジラの耳の骨のレプリカが贈呈されました

令和6年12月4日(水)、役場庁舎中会議室でハナワクジラの耳の骨のレプリカの贈呈式が行われました。

このレプリカは、県立白河実業高等学校3年・穂積虎太郎さん(本町)が、総合的な探究の時間を利用して、塙町で発見された学術的価値が非常に高いハナワクジラの化石について研究を行い、3Dプリンターを用いてその耳の骨のレプリカを製作しました。同校ではこの作品が、地域の学術的・文化的遺産として町に貢献できるとともに、3月末で塙校舎(旧塙工業高等学校校舎)が閉校舎となることから、今までお世話になった町への恩返しをとの考えから、今回の贈呈となりました。

式では、穂積さんが一人一人に感謝の気持ちを述べながら、レプリカの製作に協力した、藤田産業株式会社代表取締役の藤田英留さん(末広町)と、県立博物館主任学芸員の猪瀬弘瑛博士、そして、今までお世話になった町への恩返しの気持ちを込めて、宮田秀利町長にそれぞれ贈呈しました。

「田んぼの学校」収穫祭

令和6年11月27日(水)、塙小学校で「田んぼの学校」収穫祭が行われました。田植えから稲刈り、脱穀・精米と、お世話になった地域の皆さん(台宿水と資源を守る会)へ、児童たちから米作りを通して学んだことが発表された後、班ごとに農作物のことや最近の流行について話し、交流を深めました。そして、児童たちからリコーダーの演奏や英語の歌が発表され、最後に、お米の先生である皆さんに感謝の気持ちを込めて、収穫したうるち米とそのお米で作ったおにぎりがプレゼントされました。



懇親会では笑い声があふれていました



伊藤智樹県南地方振興局長(左)から賞状などを贈呈された星さん(右)

「税についての作文」表彰式

令和6年11月25日(月)、「税についての作文」で県南地方振興局長賞に選ばれた塙中学校3年・星晴優さん(台宿)の表彰式が同校で行われました。星さんは、「過去の作文を参考にし、そこから自分の中の税の一番よい使い方について書いた」と述べました。

受験生の皆さんを応援しています

令和6年12月5日(木)、塙中学校で東西しらかわ農業協同組合から同校3年生の生徒たちに「合格祈願米」が贈呈されました。同組合では、平成21年から高校合格祈願米贈呈事業を行っており、ブランド米である「みりよく満点米」にちなみ、「満点」で志望校に合格できるよう、願いが込められています。



受験生である3年生一人につきお米1キロが贈呈されました(一番右が菊池教夫代表理事組合長、一番左が石田富加志校長)

笑い声が絶えなかった芸術鑑賞教室

令和6年12月6日(金)、はなわこども園で芸術鑑賞教室が行われました。有限会社人形劇団ポポロ(東京都東村山市)による人形劇「おしゃべりなたまごやき」が公演され、はなわこども園幼稚園部と笹原幼稚園の園児たちが鑑賞しました。芸術鑑賞教室は、園児の豊かな心や感受性の育成を図るために行われています。園児たちは、笑ったり、指をさしたりと夢中になりながら鑑賞していました。



人形劇「おしゃべりなたまごやき」

冬休みの帰宅放送を担当しています

冬休みが令和6年12月25日(水)から始まり、今年も毎日午後4時50分から、IP告知による帰宅放送が流れています。この放送のための録音は、12月12日(木)、役場庁舎放送室で行われました。今回、帰宅放送の担当をしてくれたのは、笹原小学校6年の神永琥羽さん(山形)と大森凱さん(湯岐)です。皆さん、放送が聞こえたら交通事故に気をつけて家に帰り、楽しい冬休みを過ごしてくださいね。



今回、放送を担当した神永さん(奥)と大森さん(手前)

ダリちゃんエプロンが完成しました



ダリちゃんエプロンを試着した皆さん(左から高澤さん、宮田町長、下重さん)

令和6年12月2日(月)、役場庁舎応接室で町商工会女性部・下重きく江部長(材木町)と同おみやげ委員会の高澤和子委員(上町)が町補助金を活用して、ダリちゃんエプロンを製作したことを報告しました。このエプロンは、道の駅はなわや湯遊ランドはなわなどで販売されています。

おみせやさん がんばりました

令和6年12月5日(木)、笹原幼稚園で、笹原小学校の児童たちと笹原幼稚園の園児たちの交流学习が行われました。今回は、園児5人が、ラーメン屋さんや天ぷら屋さんなどのおみせやさんを開き、児童たちのために作るおみせやさんごっこを行いました。最後には、園児たちが作った松ぼっくりのクリスマスツリーがプレゼントされ、とても楽しいおみせやさんごっことなりました。



上手にやきそば作れたね おなかいっぱい食べました

埴町要保護児童対策協議会
代表者会議・研修会開催

11月21日(木)、埴町防災センター会議室で、令和6年度埴町要保護児童対策協議会代表者会議が行われました。

会議には、県南保健福祉事務所など関係機関の代表者が出席し、町の対象となる園児・児童・生徒との関わりや状況についての報告と意見交換が行われました。

その後、福島大学大学院・市川英雄特任教授を講師に迎え研修会も行われました。内容は「子ども家庭相談における役割と要体協に求められるもの」と題して、児童虐待の現状や関係機関の連携方法などについての講義が行われました。

35名の参加者は真剣な面持ちで教授の講義を聞いて理解を深め、実践的な対応に直結した研修会となりました。



児童虐待の現状や関係機関の連携方法などについて理解を深めました

埴放課後児童クラブおよびはなまるはうすで
避難訓練を実施しました！



秦公男教育長の話の後、
棚倉消防署埴分署の方からの講話を聴きました

11月25日(月)、埴放課後児童クラブおよびはなまるはうす合同で、火災発生を想定した避難訓練を行いました。訓練後は、はなまるはうすの利用児童やスタッフも埴放課後児童クラブの園庭に集まり、棚倉消防署埴分署の方からの講話を聴きました。また、スタッフ全員が消火器の使い方や初期消火の講習を受け、児童はその様子を見学しました。



消火器の使い方を学びました

定期的な訓練を行うことで、児童やスタッフが、いざという時に慌てずに行動できるように、今後も訓練を行っていきます。

こんにちは赤ちゃん

11月16日から12月15日までの届け出

出生児名 父・母 月/日 住所
有坂 真 堯 舜 堯・紗希 堯 11/26 桜木町

心温まる善意に感謝 (12月)



小室恵子様(上石井)が、令和6年12月17日(火)に町役場を来庁され、額絵(押花)3点を寄贈されました。



埴町は「カスハラ」に対し
毅然とした対応で臨みます

利用者の皆さまも職員も、お互いに尊重される明るい社会を目指し、町では「行政に対する過剰な要望・要求に対する対策要領」を策定し、1月1日以降、対応していきます。

町民の皆さまのご理解、ご協力をよろしく申し上げます。

■問い合わせ先 総務課総務係 ☎43-2111



SUZUKI MIKA

随想リレー

お待ちかね！
あなたの出番です。

鈴木 美香さん(伊香)

職業 団体職員
趣味 読書
好きな言葉 直感
好きな食べ物 トマト料理
好きなこと 犬や猫と遊ぶこと



「ごはんがおいしい埴町」

埴で暮らして23年。そのうちの半分は以上は埴町観光協会に従事しています。特に、9年前から始まった埴町での農業や食体験を中心としたモニターツアー、ここ数年はさまざまな要件のモニターツアーも増え、平均して年に10回は行っています。その中で体験先の農家さんには大変お世話になってい

ます。人が生きる上で最も大切な食を支える農業を目にすると、知らなかったことが多く、私自身もツアー参加者の皆さんと同じで毎回勉強になっていきます。特に、畜産や酪農といった動物のお世話は休みがないうに等しく、覚悟がいるなど感じますが、農家さんの表情をみていると、生き生きとしており、自分が育てている野菜やお花・動物たちに愛情を持ってお世話をしているのが伝わります。そして、大先輩に当たる年齢の方々と接することが多いのですが、とにかくよく働きます。だから元気なんだと、働くことの大切さを

痛感します。

埴町に暮らしていると、新鮮な野菜、果物やお米をふんだんに食べることができ、つついご飯を食べすぎてしまいます。

思い起こせばもう数十年前になりますが、一人暮らしをしていた20代のころは美容師として働き、毎晩帰りも遅く、ご飯を毎日こんなにしっかりと食べることはありませんでした。もちろんモリモリ食べる分、しっかりと身につけていますが、肌艶なんかは、若いころよりよいのではないかと…。

ご飯をおいしく食べられるって、幸せだなという、その喜びはツアーに参加した方々にも、しっかりと伝えていく自負があります。

今後も体験などで、農家さんをはじめ、町内各地で皆さまにお世話になると思いますが、引き続きよろしく申し上げます。

今回は土井眞穂梨さん(川上)です。

劇「ふしぎの国のアリス」。
それぞれの役を演じました(幼稚園)



練習の成果を 発表しました

令和6年11月30日(土)、はなわこども園幼稚園で生活発表会が、12月14日(土)、保育部でおゆうぎ会がそれぞれ行われました。園児たちは、かわいらしい衣装に身を包み、はやりの歌やダンス、劇などを発表し、この日のために練習してきた成果を披露しました。

曲に合わせてかわいいダンス
(幼稚園)



ミックスジュース♪



(保育部)

一生懸命
踊りました
(幼稚園)



ロボカー・ポリー出動!(保育部)



小さくて
かわいい
ペンギンさん
(保育部)



スマイル!
(幼稚園)



休日の当番医

1月1日(水・祝)	塙 厚生病院 ☎ 43-1145	1月12日(日)	東 館 診 療 所 ☎ 46-2312
1月2日(木)	木 村 医 院 ☎ 46-3528	1月13日(月・祝)	和 田 医 院 ☎ 33-2012
1月3日(金)	あらまちクリニック ☎ 33-8018	1月19日(日)	大 木 医 院 ☎ 33-2424
1月5日(日)	つちやクリニック ☎ 43-2250	1月26日(木)	深谷クリニック ☎ 33-3223

■町の人口 7,831人(12月1日現在)

男性3,893人(+3名) 世帯数3,279(+4)
女性3,938人(-4名) ※()内は前月比
※広報はなわの「町の人口」は、住民基本台帳の人口、世帯数を掲載しています。

■今月の納税など

国民健康保険税 7期
後期高齢者医療保険料 6期
納期限 1月31日(金)

■口座振替日は1月27日(月)です。

編集後記

■はやいもので令和6年が終わり、新しい1年が始まりました。昨年4月から広報担当になりました。今までは、その中でも、町民の方への写真も撮らえませんか?と言われ、写真も撮らう!と思うようになりました。写真は、多くの方に協力いただき、笑顔がたくさんありました。ありがとうございます。令和7年も何卒よろしくお願いいたします。令和6年11月30日(土)、12月1日(日)に水郡線全線開通90周年を記念し、ふくしま鉄道博が開催されました。水郡線の思いが一つになったイベントでした。■こども園の生活発表会へ取材に行きました。園児たちが踊ったり歌ったり、とても癒されました。衣装がとてと凝っていて、すごい!と思うのと同時に先生方作るの大変だったんだろうなと感じました。(夏)

塙町のSNS



塙町フェイスブック



塙町X
(旧ツイッター)



塙町インスタグラム



塙町ホームページ



塙町LINE

発行・編集 塙町役場
印刷 佐藤印刷所
〒963-1549
福島県東白川郡塙町大字塙字大町三丁目21番地
TEL(0244)431211
FAX(0244)431211